

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業実施報告書（平成28年度）

（研究指定校用）

研究指定校名	北海道富良野緑峰高等学校	富良野市立富良野西中学校	富良野市立富良野小学校
---------------	--------------	--------------	-------------

1 研究テーマ

ふるさとに心が向く小中高一貫キャリア教育の推進
～地域社会と学校が連携・協働して取り組む富良野のふるさとキャリア教育～

2 研究の目的

小中高が連携しながら、自分たちが生まれ育った富良野市についての理解を深めさせ、富良野市や地元企業の支援を受けながら体験学習や職業体験、キャリア講演会等を実施することで郷土愛を育み「ふるさとに心が向く」という観点から、地域におけるキャリア教育の総合的な推進方策を策定し、その実施を図りながら地域を愛し、地域に貢献する態度を養う。

3 全研究指定校共通の効果測定**1 学校対象（校長）の回答項目****(1) 小中高の情報共有の状況について**

小学校	「小中高一貫富良野キャリア教育推進会議」の定期的な開催、及び各学校段階において、情報共有が密に行われている。また、「マイノート」を中学校へ引き継ぎ、情報を共有していくことを確認した。
中学校	定期的に小中高の学校間で情報共有するとともに、「マイノート」を高校へ引き継ぎ、情報を共有していくことを確認した。
高 校	「地域未来づくり会議」及び「小中高一貫富良野キャリア教育推進会議」「異校種間の連携事業」により、情報共有が密に行われている。また、小・中学校における「マイノート」の使用状況を確認するとともに、本校の実態に応じた「マイノート」の工夫・改善を図った。

(2) 発達段階に応じて身に付ける能力等の目標設定について

小学校	「小中高一貫富良野キャリア教育推進会議」による小中高のすり合わせや、「地域未来づくり会議」における助言等を踏まえ、小学校では、「ふるさとを知ろう」というテーマで具体的な取組を設定することができた。
中学校	「小中高一貫富良野キャリア教育推進会議」による小中高のすり合わせや、「地域未来づくり会議」における助言等を踏まえ、中学校では、「ふるさととの接点を持つ」というテーマで具体的な取組を設定することができた。
高 校	「小中高一貫富良野キャリア教育推進会議」による小中高のすり合わせや、「地域未来づくり会議」における助言等を踏まえ、高校では、「ふるさとと関わり、地域と共に地域創造に貢献しよう」というテーマで具体的な取組を設定することができた。

(3) 発達段階に応じて身に付ける能力等の定着度合いについて

小学校	食育教育の一環として高校生の「カレンジャー娘」と連携し、富良野産の野菜を用いた「富良野オムカレー」を給食として出すなど、様々な連携事業を行うことでふるさと富良野の理解が深まった。
中学校	中学と高校の生徒会が中心となって「ふらのゆめらんたん」の企画から運営まで取り組んだことで、地域に目を向け、自ら主体的に関わる意識を持ち、活動に参加する生徒が増えた。
高校	計画的、体系的にふるさとキャリア教育を展開したことにより、生徒は様々な体験を通して身に付けた力を、自らの判断によって活用できることが多くなった。

2 PTA 役員を含む保護者、学校評議員等の学校関係者対象の回答項目

(1) 学校との情報共有の状況について

小学校	行事や参観日、学校便り等、あらゆる機会を通じて学校からの情報発信があった。 【特に印象に残った取組等：高校との玉葱栽培交流、ふらのゆめらんたん】
中学校	学校行事やPTA役員会、学校評議委員会、広報（学校便り）等、情報共有をする機会が設定されており、取組状況の説明があった。 【特に印象に残った取組等：ふらのゆめらんたん、職業講話】
高校	年度計画に基づいてPTA役員会が行われ、情報共有の機会は多い。また、研修会や連合地域との連携もよい状況にあった。 【特に印象に残った取組等：ふらのゆめらんたん】

(2) 地域の教育資源を学校のキャリア教育に活用する状況について

小学校	従来から地域の方々からの支援を受ける機会が多く、PTAと学校の協力体制ができた。
中学校	市教委からの支援を受けることで、地域の教育力を活用しやすくなってきている。PTAと学校が相互に依頼や協力できる体制ができた。
高校	富良野市、商工会、JC、市教育委員会、ふらのみらいラボ、メセナ、演劇工場等、地域の住民との協力体制ができた。

3 児童生徒（小中学生）対象の回答項目

【項目 1】 ふるさとへの理解と愛着について

小学校	「富良野の未来について考えたことを発表した。」「自分が住んでいる地域のことについて、自分以外の人に話したりしったりできるようになった。」などと答えた児童が1.3倍になった。 【特に印象に残った体験活動：玉葱栽培交流、カレンジャー娘による給食授業】
中学校	「地域の活動に参加することが増え好きなどころを詳しく調べるようになった。」等、地域の活動に自分から参加しようという気持ちが高まった。 【特に印象に残った体験活動：ふらのゆめらんたん、富良野の農業と観光の未来について語り合う会】

【項目 2】 ふるさとの生活に関する興味・関心について

小学校	「スキー場の大きさや自然について興味を持った。」「自然や観光名所について、みんなに知ってもらいたい」等、児童のふるさとへの興味・関心が高まった。
中学校	「ふらのゆめらんたんに参加し、多くの人と係わることができた」と答える生徒、地域との結び付きや高校生との連携の中から地域に興味・感心を持ち、自発的に行動する生徒が見られるようになった。

4 生徒（高校生）対象の回答項目

【項目 1】 ふるさとへの理解と愛着について

高校	「知っていることや好きなことが増え、自分以外の人に話すことができたと思う」等、「地域のことについて、自分以外の人に話したりする積極性が増した。」と答えた生徒が約3倍になった。 【特に印象に残った体験活動：大人のひと言、ふらのゆめらんたん】
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【項目 2】ふるさとの生活に関する興味・関心について

高 校	「ふるさとに以前よりも興味を持ち、仕事、体験などに参加するようになった。」 等、実際に地域の行事や体験活動に参加し、地域の小中高生や大人との交流する生徒が増加した。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------

【項目 3】ふるさとして生活を営むことへの興味・関心について

高 校	地域住民との関わりの中で、ふるさとして生活していくことに対する実感を高める生徒が見られ、地域活性化への取組に興味・関心を持つ生徒が増加した。 【特に印象に残った体験活動：大人のひと言、地元企業説明会】
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 具体的な研究活動		
項目	取 組	取り組んだ内容等の説明
全 体	① 全体計画の見直し	・ 5月27日（金）第1回地域未来づくり会議において、昨年度作成した小中高12年間のキャリア教育全体計画について了承を得た。
	② キャリアノート の活用や改善点など	・ 小中高でマイノートの活用状況を確認するとともに、高校では生徒の実態に合わせて、マイノートを改善し、次年度から使用する。
地 域 ダ イ ス キ ！ プ ロ ジ ェ ク ト	③ 地域の特性や教育資源を生かした取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の企業と連携したエネルギーの地産地消研究の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の企業である、アイキ産業（株）、三基（有）と小水力発電の共同研究及び阪口農園とエゾシカの獣害対策に係る共同研究を実施した。（4月～3月、高4） ○ 地域の基幹産業である農業に係る異校種間で連携した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小学生農業体験学習会」として、高校生が小学生に地域の基幹作物である産業である玉葱の栽培について指導した。（実施日：5月12日（木）、参加：小87、高38）※台風災害により以後中止。 ・ 「幼稚園ジャガイモ栽培交流会」として、高校生が幼稚園児に自然と農業にふれ合う機会を設け、地域基幹産業である農業に親しみを持たせるために実施した。 （第1回：定植、実施日：5月20日（金）、参加：幼63、高32） （第2回：観察、実施日：7月14日（木）、参加：幼63、高32） （第3回：収穫、実施日：8月30日（火）、参加：幼63、高32） （第4回：調理、実施日：10月18日（火）、参加：幼63、高32） ・ 「富良野の農業と観光の未来について語り合う会」として、中学生と高校生が、富良野の将来と地域活性化についてグループ協議を行い発表した。（実施日：9月26日（月）、参加：中98、高68） ○ オムカレー等の商品開発に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校との「ふるさと給食『富良野オムカレー』の献立化に係る食育交流」として、高校生が市の教育委員会及び小学校の栄養教諭と連携して、ふるさと富良野産の食材を活用したオムカレーを小学校の給食で提供し、併せて栄養教諭と食育に係る授業を行った。（実施日：9月7日（水）、参加：小479、高7） ・ 「ワンデーシェフレストラン」として、オムカレー推進協議会、ふらのみらいらば、同志社女子大学と連携し、地域グルメであるオムカレーを本校のカレンジャー娘と大学生が地域住民に提供した。（実施日：9月10日（土）、参加：市民35、高7、大8） ・ 「大学祭でのPR活動」として、富良野市、オムカレー推進協議会と連携して、本校のカレンジャー娘が富良野市と同志社女子大大学祭でオムカレーのPRを実施した。（実施日：11月18日（金）～21日（月）、参加：高7）

地域 ダイスキ！ プロジェクト	③地域の特性や教育資源を生かした取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「小学校とのカレーづくり交流」として、ふるさと富良野産の野菜を活用し、小学生とカレーづくりを行った。(実施日：11月24日(木)、25日(金)、28日(月)、参加：小87、高21) ○ 自治体、地域の団体(ふるの未来ラボ)と連携した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・「空から鳥になって～ふるのを知ろう～」として、ふるさと富良野市のジオラマを作成し、ふるさとの地形を俯瞰的に観察し、地域理解を深めた。(実施回数：3回、参加：小4、中3、高2) ・「見て、作って、食べて～美味しいを探そう～」として、地元の富良野産の食材を使った料理を研究し、地域理解を深めた。(実施回数：3回、参加：小5、中3、高14) ・「まちをつくろう～ふるのゆめらんたん～」として、らんたんそれぞれの夢や地域の想いを書き込んで空へ飛ばす、地域の異世代交流イベントを実施した。(実施日：1月21日(土)、参加：市民150、小22、中12、高12) ・「はたらく人になって2016～ウェディングプランナー～」として、中高生が中心となって、結婚式をプロデュースした。(実施日：2月19日(日)、参加：市民300、小43、中24、高4) ○ ふるさとの特色である「演劇」に関わる取組 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるの演劇祭」において、富良野演劇工場の指導の下、市民創作劇に参加した。 (実施日：10月10日(月)、参加：高2、市民15) ・富良野の文化の発展、充実を目的に、富良野演劇工場における「朗読10分間劇場」に参加し、詩の朗読を行った。(実施日：11月6日(日)、参加：高7、市民30)
	④講演会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「大人のひと言」と題し、地元で地域活性化やふるさと創生に取り組んでいる大人の話の聞き、生徒にふるさとについて考えさせた。 (1回目、実施日：6月15日(水)、参加者：高102) (2回目、実施日：7月20日(水)、参加者：高100) (3回目、実施日：7月20日(水)、参加者：高94) (4回目、実施日：7月20日(水)、参加者：高99)
子ども ダイスキ！ プロジェクト	⑤座談会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道保健福祉部子ども未来推進局と連携し、「母子保健の視点から、お産の現場・女性から母親へ・赤ちゃんの栄養について～将来、親になる皆へ～」をテーマに座談会を実施した。(実施日2月27日(月)、参加：高52)
	⑥出前授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道保健福祉部子ども未来推進局と連携し、「スポーツ指導やPTA活動をとおして父親として感じたこと」をテーマに出前授業を実施した。(実施日：2月27日(月)、参加：高53)
	⑦家庭科副読本を活用した授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭総合の授業の「保育」の単元で、家庭科副読本を活用した授業を実施した。(実施日：2月13日(月)～24日(金)、参加：高102)
その他	⑧その他、本事業に関連する活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京大学学生との地域づくりグループワーク」として、富良野の地域活性化に向けてグループ協議等を行った。(実施日：9月1日(木)、2日(金)、参加：市民15、大4、高3、中2、小3)

5 研究の結果と今後の取組**(1) 研究の結果**

- 児童生徒の、ふるさと富良野に対する興味・関心を高めることができ、積極的に発表したり、実際に地域のイベントに参加したりするようになった。
- 地域の小中高の情報共有が促進され、各学校間でマイノートを引き継ぎ、小中高の12年間を見通したキャリア教育を推進する体制が構築できた。
- 地域関係機関との連携が深まり、地域と共にまちづくりをしていこうという共通理解のもと、学校と地域が協力する体制づくりが始まった。
- この地域との結び付きを継続的なものとし、小中高の縦の連携と地域との横の連携が結び付くようにするという観点から、各取組を工夫・改善する必要がある。
- 現在の取組による教育効果を更に高めるため、本校の実態により即したマイノートとなるよう、さらに改善する必要がある。

(2) 今後の取組

- 次年度は本事業の最終年度であるが、平成30年度からも本事業を富良野市が引き継ぎ、取り組むことが確認されており、市の総合計画にも盛り込まれている。今後も継続して、本事業に係る取組を工夫・改善し、社会に開かれた教育課程のもと、地域と共にある高校づくりを目指す。
- 現在指定を受けているU-18未来フォーラム事業ともリンクさせ、より高い教育効果が生まれるよう、教育活動の工夫・改善に取り組む。
- 小中高が連携し、マイノートを各学校間で引き継いでいくことで、系統的な指導を継続する。

6 活動の記録

[まちをつくろう～ふらのゆめらんたん～]



[らんたんを飛ばす様子]

みんなの夢をみんなの手で揚げよう！
 らんたんあげたい！あのこがいった。
 らんたんあげたい！みんなもいった。
 小さな町の小さな学校
 ゆめをあつめて 願いをこめて
 みんなであげる ゆめらんたん
 ひとつつながる ゆめらんたん
 小さな町の小さな工房
 ゆめを求めて 願いをこめて
 いっしょにつくる ゆめらんたん
 あつまる つながる ゆめらんたん
 小さな町のあちこちで
 ゆめを探して 願いをこめて
 ゆらぎが やわらか ゆめらんたん
 あったか ゆめが ふんわりあがる
 まちをつくろう ゆめらんたん
 まちをつくろう ゆめらんたん
 (児童・生徒が朗読した詩)

[実施日]

平成29年1月21日(土)

[実施時間]

14:30～17:30

[実施場所]

北海道富良野緑峰高等学校

[運営者又は講師等]

運営者：北海道富良野緑峰高等学校生徒会
富良野市立西中学校生徒会

[協力先、連携先等]

- ・ふらのみらいらぼ
- ・富良野市末広町

[参加者]

- ・富良野市民150名
- ・富良野小学校22名
- ・富良野西中学校12名
- ・富良野緑峰高校12名

[実施内容]

中学校と高校の生徒会の生徒が中心となり、「ふらのみらいらぼ」と連携して、らんたんを作成し、参加者がそれぞれの夢や地域の思いをらんたんに書き込んで空へ飛ばす、地域の異世代交流イベント。

[実施後の児童生徒の変容]

- ・コミュニケーション能力の向上
- ・プレゼンテーション能力の向上
- ・自己有用感の高揚
- ・積極性の向上
- ・ふるさつを見つめ直すきっかけとなり、地域活性化についての課題意識が高まった。

[その他]

[大人のひと言]



[北海道新聞社富良野支局長 横井 正浩 様]



[富良野市経済部長 原 正明 様]



[富良野商工会議所会頭 荒木 毅 様]

[実施日]

- ①平成 28 年 6 月 15 日 (水)
- ②平成 28 年 7 月 20 日 (水)
- ③平成 28 年 11 月 16 日 (水)
- ④平成 29 年 1 月 25 日 (水)

[実施時間]

14:20～15:10

[実施場所]

北海道富良野緑峰高等学校

[運営者又は講師等]

運営者：進路指導部

講師：

- | | |
|--------------|---------|
| ①富良野演劇工場長 | 太田 竜介 様 |
| ②北海道新聞富良野支局長 | 横井 正浩 様 |
| ③富良野市経済部長 | 原 正明 様 |
| ④富良野商工会議所会頭 | 荒木 毅 様 |

[協力先、連携先等]

- ・富良野演劇工場
- ・北海道新聞社
- ・富良野市
- ・富良野商工会議所

[参加者]

- ①富良野緑峰高校第2学年102名
- ②富良野緑峰高校第3学年100名
- ③富良野緑峰高校第1学年94名
- ④富良野緑峰高校第3学年99名

[実施内容]

「大人のひと言」と題し、地元で地域活性化やふるさと創生に取り組んでいる大人の話を聞き、生徒にふるさとについて考えさせた。

[実施後の児童生徒の変容]

- ・ふるさとについての興味関心が高まった。
- ・人の生き方在り方について考えが深まった。
- ・地域に対する理解が深まった。
- ・地域づくりに対する考えが深まった。

[その他]

[北海道保健福祉部子ども未来推進局と連携した座談会及び出前授業]



[助産院あゆる助産師 北田 恵美 様]



[富良野スキー連盟指導員、富良野小学校野球少年団監督 上堀 聡 様]

[実施日]

平成29年2月27日(月)

[実施時間]

10:45~12:35

[実施場所]

北海道富良野緑峰高等学校

[運営者又は講師等]

運営者：本校家庭科

講師：

①座談会

助産院あゆる助産師 北田 恵美 様

②出前授業

富良野スキー連盟指導員、富良野小学校野球少年団監督 上堀 聡 様

[協力先、連携先等]

助産院あゆる、富良野小学校

[参加者]

富良野緑峰高校

流通経済科、情報ビジネス科2年生 55名

[実施内容]

- ①「母子保健の視点から、お産の現場・女性から母親へ・赤ちゃんの栄養について～将来、親になる皆へ～」というテーマで座談会を行った。
- ②「スポーツ指導やPTA活動をとおして父親として感じたこと」というテーマで出前授業を行った。

[実施後の児童生徒の変容]

- ・親になることについて考える機会となり、自分の親に対する感謝や思いやりの気持ちが育まれた。
- ・父親の子どもに対する深い愛情や子どもには見えないところでの苦勞を知る機会となり、将来、親になることへの自覚が育まれた。

[その他]

[東京大学学生との地域づくりグループワーク]



[富良野緑峰高校生徒会]



[東京大学の学生]

[実施日]

9月1日(木)、2日(金)

[実施時間]

9月1日 16:00~20:00

9月2日 16:00~17:00

[実施場所]

- ・富良野市文化会館
- ・ふらのみらいらぼ暮らしステーション
- ・北海道富良野緑峰高等学校

[運営者又は講師等]

運営者：東京大学

[協力先、連携先等]

- ・東京大学
- ・富良野市
- ・ふらのみらいらぼ

[参加者]

- ・市民 15名
- ・東京大学学生 4名
- ・富良野緑峰高校生徒会 3名

[実施内容]

- ・アイスブレイク
- ・富良野市地域づくりについてのグループ協議等
- ・らんたんの共同制作等

[実施後の児童生徒の変容]

- ・地域と連携して行事を運営することについて、生徒会執行部の意識が高まった。
- ・大学生と交流することで、進学についての興味・関心が高まった。

[その他]